

新庁舎建設に伴う公共交通

(循環バス) 整備の考え方

平成30年7月

嘉 麻 市

(担当：地域活性推進課)

◇地域公共交通（循環バス）に関する協議経過

- ・平成28年3月 「庁舎課題に関する基本計画」において、各庁舎を結ぶ公共交通ネットワークの構築として「循環バス」の検討について記載
- ・平成28年6月 地域公共交通の活性化及び再生のため地域社会の実現に寄与することを目的とした「マスタープラン」として位置付けられる、「嘉麻市地域公共交通網形成計画」の策定に着手
- ・平成29年2月 地域公共交通会議において、「嘉麻市地域公共交通網形成計画（案）」に関する答申を受ける。
当該計画において、「一体性」「安全性」「利便性」「持続性」の4つの基本方針を定める。
また、計画目標及び目標を達成する事業として「庁舎整備に伴う4つの地域の活性化・連携につながる交通網に整備」を明記。
- ・平成29年6月 嘉麻市地域公共交通網形成計画に基づき、さらなる公共交通の整備充実のため、嘉麻市における地域公共交通確保に向けた基本方針や、運行方法、運賃設定の基本的な考え方を定める、「嘉麻市地域公共交通運行計画」の策定に着手
- ・平成29年7月 「嘉麻市地域公共交通網形成計画」の国等への送付
公共交通に関する所管官庁である国土交通省との協議調整を行い、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、当該計画を国土交通大臣、総務大臣及び福岡県等に送付
- ・平成30年3月 「嘉麻市地域公共交通運行計画」の完成
「庁舎課題に関する基本計画」において提示した「循環バス」について、「市内循環線」として運行計画に明記。当該路線は旧市町の区域を越えて運行する路線で、本庁と支所間の移動のみならず、通学や通院、買い物に利用できるサービス水準を確保し、年末年始を除き、1時間に1本程度の運行を基本とする幹線路線として位置付けている。
また、現在の市内周回線において、かねてから要望が多かった山田地域から稲築地域への直行路線の構築についても実現に向けて計画に盛り込んでいる。（西鉄バス路線との競合等への対応に関し課題あり。）

これらの計画策定に関しては、行政、事業者、市民代表、利用者等を委員とする嘉麻市地域公共交通会議において議論を行ったうえで策定した。

【開催回数】 ・平成28年度 6回 ・平成29年度 6回
 ・平成30年度 1回

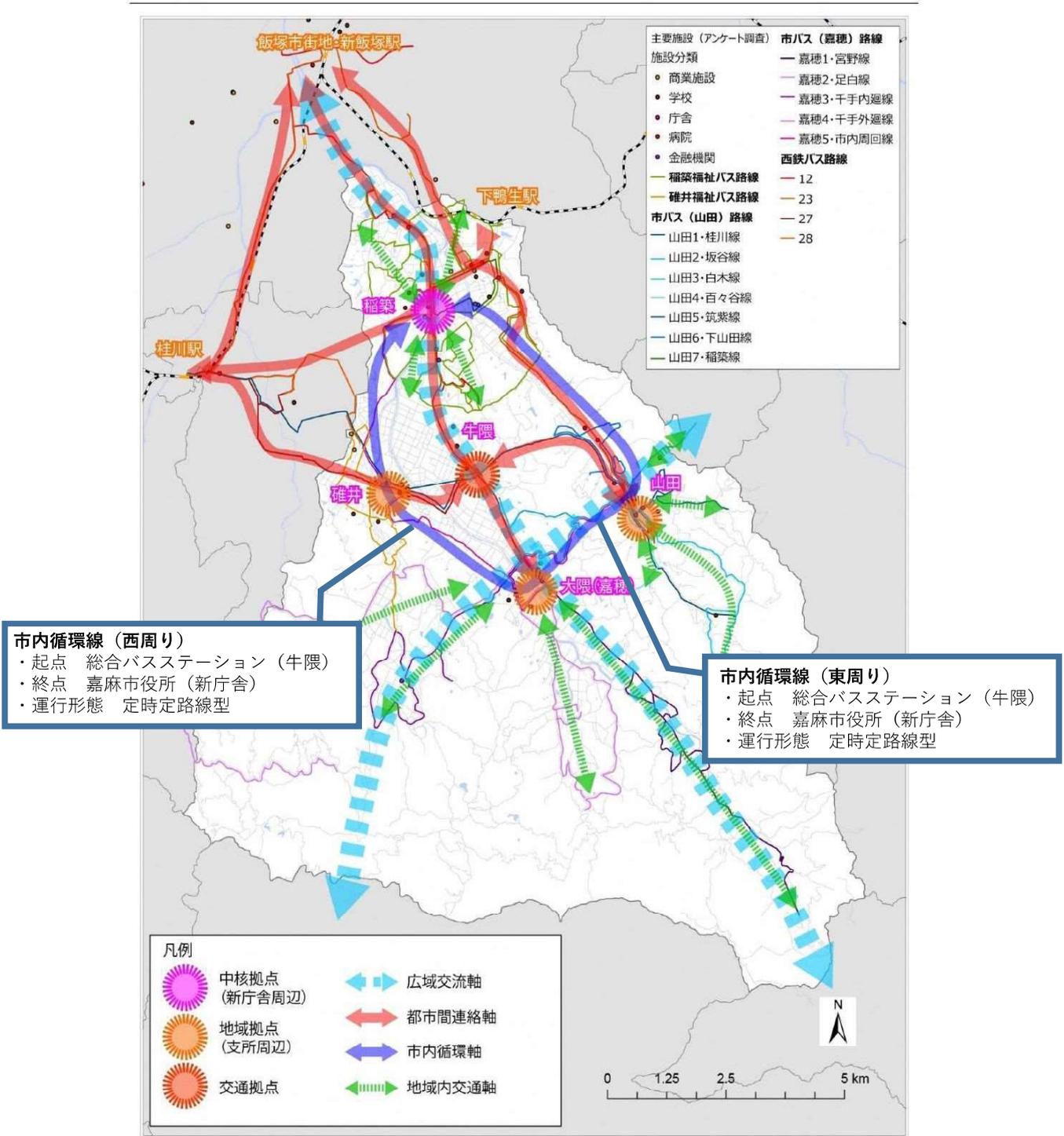
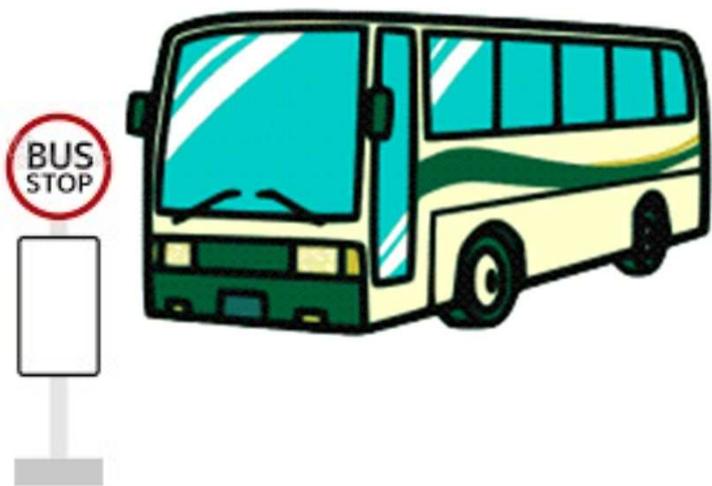


図 1 嘉麻市の公共交通網の将来像

西鉄バス碓井・大分坑線一部運行存続決定

(27番系統は運行継続、28番系統は廃止となります。)



平成29年6月30日付で、西鉄バス筑豊株式会社から、「碓井・大分坑線」全路線廃止の申し出がありました。その後、飯塚市、嘉麻市、桂川町の2市1町で、西鉄バスに存続に向けた要望を行い、慎重な協議を続けてきました。

協議の結果、28番系統は廃止となりましたが、27番系統については、便数に変更はありますが、

運行の継続が決定しましたのでお知らせします。

変更点につきましては、「赤字路線であり、収支の改善が難しいこと。」「慢性的な乗務員不足であること。」から、1日あたり、乗務員2人、バス2台での運行となることに伴うもので、以下のとおりです。

◇運行継続区間は？

継続して運行される区間は、

「飯塚」～「桂川駅」～（嘉穂総合高校）～「西鉄大隈」 です。

※嘉穂総合高校は登下校時間帯に乗り入れが行われます。

ただし、「又手」～「第2保育所前」間の28番系統は廃止となります。 ※代替りの交通手段については、検討を行います。

◇運行される便数は？

1日8往復（16便）の予定です。

※現在の30往復（60便）と比較して、便数が少なくなります。

◇いつから変わるの？

平成30年10月1日から 変更となります。

※平成30年9月30日までは、現状運行の予定です。

※ダイヤ等の詳細については、分かり次第改めてお知らせします。

【問合せ先】

(飯塚市)	飯塚市役所	商工観光課	0948-22-5500
(嘉麻市)	嘉麻市役所	地域活性推進課	0948-62-5677
(桂川町)	桂川町役場	企画財政課	0948-65-1085